

農林水産省食料産業局長賞

『心に残った給食』

兵庫県加古川市立野口北小学校 五年 女子 山田 妙乃

私はこの5年間でいろいろな給食を食べました。その中でも、一番心に残った給食は、「きなこパン」です。きなこことさとうがのっついていて、人気のメニューだそうです。

きなこパンが心に残った理由は、1つあります。1つは、4年生の時、とても仲よかった友だちと大ゲンカをしてしまいました。次の日も、その次の日も、目を合わせるたびに、にらみ合ったりしていましたが、3日もすると相手に対するいかりや、にくしみは消えていきました。そのかわり、「仲直りしたい」や「あやまろうかな：」という気持ちになったのです。でも、なかなか勇気を出せず、強じようをおたがいはりあって、あやまれずにいました。ケンカが続いたまま、約1週間がたったころ、そのときの給食メニューが「きなこパン」だったのです。いつもはケンカしている友だちと、

「やったあ!!きなこパンだ!!」

と、よろこんでいましたが、ぜんぜんよろこぶ気にはとてもなれませんでした。それでも、きなこパンが好きだから、おかわりのじゃんけんに参加すると、ケンカ中の友だちもいました。のこり1つのきなこパンをとられたくない!!といきなり思えてきました。そこから10人くらいの人とじゃんけんをして、とうとうのこり2人まで勝ち残りました。相手はケンカ中の友だちでした。友だちとじゃんけんをすると、1回目も2回目も3回目も4回目もあいこでした。これはますます負けられないと思い、5回目をする、グーで負けてしまいました。私は、

「くく!!あと少しだったのにー!!」

と言ってくやしがりしました。それを見ていた友だちは、

「先生!!このパン、半分にしていいですか?」

といきなり言って、パンを2つに分けました。私は、

「え?え?どういうこと:!?」

と、とまどっていました。友だちは、

「ハイ。これで仲直り。」

といってくれました。その後、友だちとおたがいあやまって、仲直りができました。

以上の理由から、私がとても心に残った給食は、「きなこパン」です。それ以来、友だちとは11月の金曜日に出る「きなこパン」は、「友情のパン」とよんでいます。